

講義科目名称： 建築空間論

科目コード： 52200

英文科目名称： Design Planning IV

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1・2年後期	1・2	2	選択
担当教員			
田井 幹夫			
添付ファイル			
講義概要	中間領域を様々な角度から考察、検証する。 公共建築において「都市と建築のパブリックスペース」（ヘルマン・ヘルツベルハー著）を教科書として、オランダ構造主義において計画されたモダニズムに対峙する立場としての中間領域のあり方を考察、検証する。 住空間においては「個室の計画学」（黒沢隆著）および「都市のエージェントはだれなのか」（北山恒著）において都市環境や家族形態の変化において、住空間のあり方や、公共空間との関係のとり方が示す中間領域のあり方を考察、検証する。		
授業計画	ガイダンス 中間領域の概要説明 公共建築の中間領域1 「都市と建築のパブリックスペース」（ヘルマン・ヘルツベルハー著）解説 公共建築の中間領域2 「都市と建築のパブリックスペース」（ヘルマン・ヘルツベルハー著）解説 公共建築の中間領域3 「都市と建築のパブリックスペース」（ヘルマン・ヘルツベルハー著）解説 公共建築の中間領域4 「都市と建築のパブリックスペース」（ヘルマン・ヘルツベルハー著）解説 リサーチ発表 公共建築における中間領域のサンプル採取および空間的、活動的特徴のプレゼンテーション。 住宅における中間領域1 「個室の計画学」（黒沢隆著）解説 住宅における中間領域2 「個室の計画学」（黒沢隆著）解説 住宅における中間領域3 「個室の計画学」（黒沢隆著）解説 住宅における中間領域4 「個室の計画学」（黒沢隆著）解説 住宅における中間領域5 「都市のエージェントはだれなのか」（北山恒著）解説 住宅における中間領域6 「都市のエージェントはだれなのか」（北山恒著）解説 住宅における中間領域7 「都市のエージェントはだれなのか」（北山恒著）解説 住宅における中間領域8 「都市のエージェントはだれなのか」（北山恒著）解説 リサーチ発表 住宅建築における中間領域のサンプル採取および空間的、活動的特徴のプレゼンテーション。		

授業形態	座学、対面形式。パワーポイントによる講義。 ポイントごとにリサーチおよび発表。
達成目標	20世紀前半を席卷した機能主義としてのモダニズム、後半を席卷した高度成長期の住宅政策、これらによって失われた建築の多様性や家族本来の意味を解く鍵が、中間領域を再考することにあるとの仮説を立て、様々な角度から検証して行く。そのために社会的な背景、モダニズム以降の建築様式の変遷の理解を深める。そして、様々な建築家が試みた打開策としての建築に仕込まれた中間領域の空間特性やアクティビティに対して、自身なりの解釈を与える。
評価方法・フィードバック	授業内の発表。 最終授業後のレポート。
評価基準	20世紀の建築の流れについての基本的知識の取得ができているか。そこで起きた問題点に対する気づきを持っているか。そしてその問題に対して中間領域のあり方が打開策となる可能性について言及できるか。
教科書・参考書	「都市と建築のパブリックスペース」(ヘルマン・ヘルツベルハー著) 「個室の計画学」(黒沢隆著) 「都市のエージェントはだれなのか」(北山恒著)
履修条件	設計製図1を履修すること。
履修上の注意	授業事前に教科書を熟読すること。 設計製図の授業での課題に実践的に本授業の考えを応用すること。
準備学習と課題の内容	教科書の熟読。 レポート：授業内容を理解した上で、中間領域を意識的に設計した事例を解説する。
ディプロマポリシーとの関連割合(必須)	知識・理解:25%, 思考・判断:25%, 関心・意欲:25%, 態度:10%, 技能・表現:15%